

「あたりまえ」を「あらためて」（文章を書く心がけ）

結城浩の「コミュニケーションの心がけ」2016年6月14日 Vol.220 より



結城は、「あたりまえ」のことを「あらためて」考えるのが好きです。

自分が見たもの、聞いたもの、ふと思いついたこと。それが「あたりまえ」だとしても「あらためて」考える。それを楽しく感じます。

「あたりまえ」というと、考えるのをそこでやめそうになります。だって、あたりまえなんですから。考えるまでもないことなんですから。でもあえてそこで「あらためて」考えてみる。

- ほんとうに「あたりまえ」なのかな。
- 自分は「あたりまえ」と感じたけれど、実は違うんじゃないかな。
- 「あたりまえ」と思っていたけど、見逃している要素があるんじゃないかな。

そんな疑問がふわふわと心の底から浮かび上がってくるのです。

そして実際、どんなことでも、いろんな角度から見ることができます。少し考え直すだけで新しい局面が発見できるものです（ほんとに）。結城は、そういう発見が大好きです。

「あたりまえ」のことを「あらためて」考える。そして何かしらの発見がある。そうすると、つまらないと感じていた毎日が、おもしろくないと感じていた生活が、新しく生き生きと輝き始めるのです。

なーんだ。毎日がつまらないのではない。生活がおもしろくないのでもない。ただ、自分の目が曇っていただけじゃないか。

「あたりまえ」のことを「あらためて」考える。

あなたもぜひ、お試しください。

<https://mm.hyuki.net/n/n7a023ae94a1e>